

OC_HACK_2018 宣言

今年度の多摩美術大学オープンキャンパスの[メインヴィジュアル](#)は、グラフィックデザイン学科大貫卓也教授による、「美」をモチーフにした大学のシンボルマークを再構成したものである。オープンキャンパスの公式サイトで、そのシンボルが生物のように次々に形を変えて描かれる様は、シンボルが持つ常識を突破する力と、そのダイナミックな変形可能性を鮮明に表現している。

ウェブ上でこのヴィジュアルデザインが公開された当初、そのファイルは、図形を座標の数値で表記するSVG形式で記述されていた。そこでまずこのデータをもとに、メインヴィジュアルをProcessingというプログラミング言語で表示できるように移植した。参加メンバーは、このソースコード(プログラム)を出発点に、それを自在に改変していくことで、メインヴィジュアルの中に潜む、未知なる色や形、動きや重なりを引き出し、生成展開することを試みた。

コンピュータ上のプログラムコードで記述されたデザインは、実行されるたびに新たに生成(消滅)され続け、ソースコード改変され増殖し続ける事で、予測不可能な進化を遂げ、半ば無限に記録/再生産され続ける。

このOC_HACK_2018は、この境界なきオープン・デザイン、オープン・アートの理念をベースに、メインヴィジュアルをコードによってハック(改造)することで、その精神を広く社会に伝え、解放していくことを実践共有するためのプロジェクトである。

テキスト: 西村梨緒葉([多摩美術大学メディア芸術コース](#) メディアラボ3年)

監修: 久保田晃弘

GitHub: https://github.com/CreativeVisualization/OC_HACK_2018

Instagram: https://www.instagram.com/idd_art/

Google Docs (this text): <http://bit.ly/2Lb4R0P>